

第1学年 国語科 学習指導案

日 時 平成29年11月27日(月)

学 級 1年B組(男子13名 女子12名 計25名)

授業者 教諭 藤原佳子

1 単元名

作品や生活と向き合いながら、ものの見方を深めよう

教材「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ／高橋健二 訳(国語1 光村図書)

2 単元について

(1)教材について

本単元は、「少年の日の思い出」「さまざまな表現技法」「漢字の成り立ち」「印象深く思いを伝えよう」「単語の性質を見つけよう」「一年間の学びを振り返ろう」「ぼくがここに」の7つの教材から成り立っている。これまで学んできたことを生かして、作品と向き合いながら、登場人物のものの見方や考え方、感じ方と関連させて、自分のものの見方や考え方を深める学習を行う。

今回取り上げる教材は「少年の日の思い出」である。学習指導要領「C 読むこと」の「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。」「エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」「オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。」〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の「イ(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。」に基づいている。また、小学校学習指導要領「C 読むこと」の「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」に関わる内容である。本教材は、登場人物の考え方、感じ方、生き方を読み取り、さらに、視点を変えることで、ものの見方を深めることを目的としている。

本単元の言語活動として「視点を変えて、文章を書き換えること」を位置づける。この活動を通して、自分の考えをもつこと、表現することができ、ものの見方や考え方が広がると考える。

(2)生徒について

4月に実施した新入生学習状況調査の結果、領域別正答率は「話すこと・聞くこと」県比+1.4、「書くこと」県比+10.7と高いが、「読むこと」県比-0.7、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」-3.2と低い傾向にある。特に、「読むこと」では「場面の移り変わり」「登場人物の心情」の読み取り、「要旨をとらえて読む」問題において正答率が低い。授業に積極的に取り組み、グループ学習においても積極的に自分の考えを交流し合う生徒が多いが、自分の考えの根拠を明確にして表現することを苦手とする生徒が多い。このことから、文章を的確に読み取り、根拠を明確にして表現できるよう手だてを工夫する必要がある。また、個人差が大きいので、細かな支援が必要である。

(3)指導について

単元構成の中に、「考える・表現する」時間を設定し、本校研究とのかかわりをふまえながら、次の2点に留意して指導する。

【研究主題】「考える力」を身に付けた生徒の育成～思考を揺さぶる場の工夫を通して～

一つ目として、「課題設定」を工夫する。

「視点を変える」という学習を通して、書き換えた文章をもとに人物の見え方はどのように変わるか考えさせる。視点を変えることで人物の見え方が変わること気づき、読みを深めることにつなげたい。

二つ目として、「思考のすべ」を用いる場面を設定する。

「関係付け」を活用して書き換えた作品について交流する。理由付けされた表現活動を通して根拠をあげて説明する力を養いたい。終末では、作品における視点の重要性、読みの多様性について考え、ものの見方や考え方を深めさせたい。

3 単元（本教材）の目標

国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 作品の登場人物の考え方や感じ方に関心をもって読もうとしている。 作品を読み、考えたことを書いたり発表したりしようとしている。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 作品の構成や展開，登場人物の心情を読み取ることができる。（ウ） 文章の構成や展開，表現の特徴について，自分の考えをもつことができる。（エ） 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ，自分のものの見方や考え方を広げることができる。（オ）
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 優れた表現，多様な語句，表現技法に触れ，理解を深めることができる。イ(イ)

4 単元（本教材）の指導計画及び評価規準（8時間）

テーマ「作品や生活と向き合いながら，ものの見方を深めよう」

時数	学習内容	指導内容	時間	評 価			評 価 規 準
				関	読	言	
1	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいを確認し，見通しをもつ。 全文を通読する。 感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読し，感想を書こう。 	つかむ	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいを確認し，見通しをもつことができる。（関） 登場人物の心情や展開を考えながら読むことができる。（読ウ） 作品を読んで考えたことを書こうとしている（関）
2	<ul style="list-style-type: none"> 感想を交流する。 構成をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前半部分ほどのような役割をもっているのだろうか。 	とらえる	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 感想を発表したり友達の考えを聞こうとしたりしている。（関） 時間，場所，出来事に着目して展開をとらえることができる。（読ウ）
3 4	<ul style="list-style-type: none"> 人物の関係，心情を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ちょう集めに熱中する「僕」の様子，エーミールの人物像を読み取ろう。 なぜ「僕」はクジャクヤママユを盗んでしまったのだろうか。 	読み取る		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 「僕」の様子を「表現の特色」などに着目しながら読み取ることができる。（読ウ）〔伝イ〕 「僕」がエーミールをどう思っていたか，ちょうの収集などに着目しながら読み取ることができる。（読ウ） 「僕」がクジャクヤママユに対して抱いていた気持ちを読み取ることができる。（読ウ）
5	<ul style="list-style-type: none"> 終末部分について話し合い，自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「僕」がエーミールに伝えたかったことは何か。 「僕」がちょうを粉々に押しつぶしたのはなぜか。 	考える		○		<ul style="list-style-type: none"> 「僕」がエーミールに伝えたかったこと，信じてほしかったことは何か，自分の考えをもつことができる。（読エ） 「僕」がちょうを押しつぶした理由と意味について，自分の考えをもつことができる。（読エ）

6	・別の人物の視点から作品を書き換える。	・「母」や「エーミール」の視点で作品を書き換えよう。	考える 表現する		○		・作品の設定や人物像、人間関係、場面を踏まえて書き換えることができる。(読オ)
7 本時	・書き換えた文章を読み合う。	・視点を変えることで、人物の見え方はどのように変わるだろうか。			○	○	・書き換えた文章をもとに人物像はどのように変わったか、話し合おうとしている。(関) ・視点を変えることで多様な読みに気づき、ものの見方や考え方を広げることができる。(読オ)
8	・学習を振り返り、単元のまとめをする。	・単元テーマについて振り返りを記述する。	まとめる		○	○	・単元テーマや登場人物の心情の変化、考え方について振り返り、まとめることができる。(読オ) ・優れた表現、語句について理解することができる。[伝イ]

5 本時の指導

(1) 目標

視点を変えることで多様な読みに気づき、ものの見方や考え方を広げることができる。

(2) 評価規準

観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	書き換えた文章をもとに人物像はどのように変わったか話し合おうとしている。(関)
読むこと	視点を変えることで多様な読みに気づき、ものの見方や考え方を広げることができる。(オ)

(3) 本時の学習内容と研究とのかかわり

ア理由付けされた表現活動

視点を変えることで人物の見え方はどのように変わったか、その理由を説明する。

イ「思考のすべ」を活用した授業展開

- ・書き換えた文章で取り上げた根拠を関係付けながら、人物の見え方の変化について交流する。
- ・各グループからあげられた様々な根拠を関係付けながら、課題について考え、解決する。

(4) 展開

段階	学習活動 (○主活動 ・生徒の反応)	形態	指導上の工夫及び留意点	評価
導入 3分	1 学習課題を設定する ○前時の確認する。 ○学習課題を立てる。	一斉	・視点を変えて文章を書き直したことを確認する。 ・学習の目的をもつことができるようにする。	
	視点を変えると、人物の見え方はどのように変わるだろうか。			

展 開 37 分	<p>2 自力解決する</p> <p>○文章を書き換えた際着目した根拠(本文), 変化の理由をまとめる。</p> <p>3 伝え合いをする</p> <p>○書き換えた文章をもとにグループに分かれ, 文章を読み合う。</p> <p>○人物像はどのように変わったか, 根拠をあげながら話し合う。</p> <p>○人物像がどのように変わったか, その理由, 根拠を発表する。</p>	<p>個人</p> <p>・叙述をもとに自分の考えをまとめることができるようにする。</p> <p>・グループでの話し合いで発表することを意識させる。</p> <p>・書き換えた文章をもとに「エーミール」「母」のグループに分かれる。</p> <p>・根拠を紙板書シートに書かせる。人物像の変化についてはまとめず, 多様な考えに触れさせ, 考えを広げる。</p> <p>・代表者が発表する。多様なとらえに触れさせ, 考えを広げる。</p> <p>・根拠カード, 人物像の変化を整理し, 可視化を図る。</p>	<p>・学習シート</p> <p>・紙板書カード</p> <p>・観察</p>
	<p>・エーミールは悪いやつだと思っていたがそうではない。P206「～悪徳」P207「こっぴどい批評家」・・・</p> <p>・エーミールはちょうの収集家として優れている。P207「難しい, 珍しい技術」「さなぎからかえた」・・・</p> <p>・P210「盗みをしたという気持ちより～」とあるが, 「僕」は間違っているのではないか。</p>	<p>一斉</p> <p>【思考のすべ】関係付け</p> <p>【理由付けされた表現活動】</p> <p>【教師の発問】視点を変えると, 人物像の見え方はどのように変わりましたか。</p>	
ま と め 10 分	<p>4 まとめる</p> <p>○作品を読むときの視点について考える。</p> <p>○課題に対するまとめを発表する。</p> <p>・視点によって人物の見え方が変わった。</p> <p>・視点を変えて読むと, 様々な読み方ができることがわかった。</p> <p>・読み手は語り手の視点にたって読んでいることがわかった。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>○次時の確認をする。</p>	<p>個人</p> <p>・自分の考えをもち, 学習シートに記述できるようにする。</p> <p>・何名か発表させる。</p> <p>・わかったこと, できたこと, 次に生かしたいことを振り返る。</p> <p>・次時の見通しをもつ。</p>	<p>・学習シート</p> <p>・発表</p>
	<p>・視点によって人物の見え方が変わった。</p> <p>・視点を変えて読むと, 様々な読み方ができることがわかった。</p> <p>・読み手は語り手の視点にたって読んでいることがわかった。</p>	<p>【思考のすべ】関係付け</p> <p>【教師の発問】作品の視点を変える学習でわかったこと, 考えたことは何ですか。</p>	

(5)板書計画



